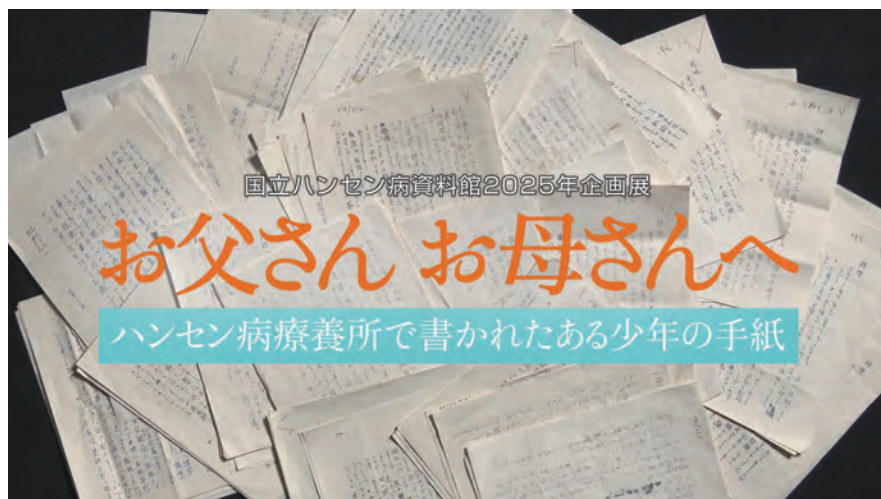


資料館だより

2025.10.1 No.128(季刊)

編集・発行 国立ハンセン病資料館



2025年度企画展「お父さん お母さんへ ーハンセン病療養所で書かれたある少年の手紙ー」開催 ー 企画展ホームページの動画もぜひご覧くださいー

9月27日(土)から、2025年度企画展「お父さん お母さんへーハンセン病療養所で書かれたある少年の手紙ー」を当館ギャラリーで開催中です。菊池恵楓園に小学6年生で入所し、長島愛生園の邑久高等学校新良田教室を卒業した少年「勝彦」氏が家族へ書いた手紙13点(1961年～1967年)を紹介しています。

本企画展は闘病の苦しみの中で書かれた手紙を取り上げた「1 中学生時代 病気を早く治したい」、療養所の外の世界に出て行くことを目前にした葛藤が書かれた手紙を取り上げた「2 高校生時代 社会復帰への不安」、特に家族との関係がうかがえる手紙を取り上げた「3 お父さん お母さんへ 家族への想い」の3つのコーナーに分かれています。そして、「おわりに」では手紙以外の資料から、少年が書いた手紙の背景を理解していただけたらと思います。

今回の企画展では、展示の内容を紹介する動画(約6分間)を会場で上映しています。関連資料を手紙と共に展示しましたが、現在ではそれらが失われている場合もあります。また、入所する前の経験については、関連したものが遺されていることは稀であり、ハンセン病回復者の個々人の記憶の中に留められているという場合がほとんどです。今回は、手紙の持ち主である「勝彦」氏取材し、入所するまでの経緯や手紙に書かれている状況をイラスト化し、手紙と共に編集した動画を制作しました。この動画を展示見学前に視聴していただくことで、より深く今回の企画展を理解していただければと考えております。合わせて、会場で公開している動画の一部を切り出した広報用の動画も3点制作しました。企画展HPから、これらの動画もぜひご覧ください。

みなさまのご来館をお待ちしております。

(田代学)

●2025年度企画展「お父さん お母さんへーハンセン病療養所で書かれたある少年の手紙ー」

【会期】 2025年9月27日(土)～12月27日(土)

【会場】 国立ハンセン病資料館 1階ギャラリー

次ページで関連イベントをご紹介します

2025年度企画展

「お父さん お母さんへーハンセン病療養所で書かれたある少年の手紙ー」 関連イベント

2025年度企画展では朗読会、講演会、トークイベント、映画上映会、ギャラリートークなど様々なイベントを開催します（ギャラリートーク以外、すべてHPからの事前予約制、定員130名）。会期初日の9月27日には朗読会「隔離された少年が家族へ書いた手紙」を開催しました。俳優の趙珉和氏に展示している手紙を朗読していただき、少年の気持ちや葛藤を想像させる催しとなりました。

今後開催されるイベントにもぜひご参加ください。（田代学）

●講演会「^{おく}呂久高等学校^{にいらだ}新良田教室の設立と生徒たち」※手話通訳あり

2025年10月26日(日) 14時～15時(開場13時30分)

呂久高等学校新良田教室設立の意義と生徒が受けた偏見・差別について解説していただきます。

講師

宇内一文

常葉大学健康プロデュース学部
スポーツ健康科学科准教授



●トークイベント

「呂久高等学校新良田教室 1964ー1968」

※手話通訳あり

2025年11月22日(土)

14時～15時30分(開場13時30分)

登壇者



やまおかよしお
山岡吉夫
多磨全生園
入所者自治会会長



やまぐちふみお
山口文夫
星塚敬愛園
入所者自治会会長

手紙を書いた少年の同級生であるお2人に当時の思い出を語っていただきます。

●映画上映会『新・あつい壁』※字幕あり

2025年12月13日(土) 13時～15時45分(開場12時30分)

「菊池事件」を取り上げた映画を上映します。菊池事件で被告人とされたF氏は、手紙を通じた社会との交流を支えに、無実を訴え続けました。現在もハンセン病問題の中で大きな課題となっている菊池事件について理解を深めます。(手話通訳申請は申込時、12月6日メ切)

●ギャラリートーク

◆10月12日(日) ★10月18日(土) ★11月1日(土)

◆11月9日(日) ◆11月15日(土) ◆11月29日(土)

◆12月7日(日) ★12月21日(日) ◆12月27日(土)

※すべて14時～14時40分

企画展を担当学芸員が解説します。定員は各回30名、お集まりの人数によって、時間をずらしていただく場合があります。

★の日はこども向け解説となります。

詳しくは企画展公式HPをご覧ください



日本財団ビルで開催

館外展示「その壁の向こう側ー写真が語るハンセン病問題の真実ー」



11月10日(月)から11月28日(金)まで、東京都港区の日本財団ビルで標題の館外展示を実施します。展示の内容は、かつて「壁の向こう側」であったハンセン病療養所と入所者の貴重な写真を撮影した趙根在の作品のなかから8点の写真を選び、キャッチコピーとシンプルな説明を組み合わせ、ハンセン病問題の重要なポイント（強制隔離、監禁室、断種・墮胎など）をお伝えするものです。

当館では館外での普及啓発活動の推進を目的として、今年度から館外展示の取り組みを始めましたが、東京都心部での展示は初の試みになります。お近くにお出かけのさいには、ぜひご来場ください。（大高俊一郎）

【会場】日本財団ビル 1階 バウルーム 〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

【会期】2025年11月10日(月)～11月28日(金)

9時～17時（最終日は13時まで）※土日祝日は休止

【参観料】無料

【主催】国立ハンセン病資料館（担当）事業部事業課

館外展示
お知らせページ
(資料館HP)



中学生向け授業動画を配信中



はじめてハンセン病問題を学習する中学生へむけて、わかりやすくお伝えする授業形式の動画を当館公式YouTubeチャンネルで配信しています。全編25分、3章構成で部分的な活用も可能です。ぜひ学校でご活用ください。

動画はこちら



ご案内「常設展示解説」

学芸員が展示室2をご案内し、かつての療養所での過酷な暮らしを解説します。初めてハンセン病問題に触れる方にもおすすめです。

【日程(10月～12月)】 ◆10月11日(土) ◆10月12日(日)

★11月15日(土) ◆11月16日(日)

★12月7日(日) ★12月21日(日)

【時間】 ★13時00分から ◆13時30分から

所要時間は30分程度

【定員】各回先着20名（当日開始30分前から受付で整理券を配布）



10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1★		1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7★解	8	9	10	11	12	13
	休	企画展(9/27～12/27)							休						休					映
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
★解		休		休		★	★解	休					★解	休	休		休			
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
	休						解	休			休		ト	★解	休	休				★
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
	休								休				★	休	休	休	休			
							30													

休：休館日

休：図書室休室日

講：企画展講演会

ト：企画展トークイベント

映：企画展映画上映会

★：企画展ギャラリートーク

解：常設展示解説

：2025年度企画展開催

図書室より



加藤三郎『詩集 いいよ いいよ』（土曜美術社出版販売、2005）

今回ご紹介するのは、加藤三郎^{かとうさぶろう}『詩集 いいよ いいよ』（土曜美術社出版販売、2005年）です。著者の加藤三郎さんは従軍経験者です。1945年に戦地でハンセン病を発症し、引き揚げの後は栗生楽泉園^{くりうらくせん}に入所しました。

加藤さんは栗生楽泉園の機関誌『高原』にたくさんの詩や短歌作品を寄稿しており、その中から編まれたのが『詩集 いいよ いいよ』です。表題にもなっている作品「いいよ いいよ」はストーリー仕立てになっています。郷里の甥に電話をかけ、その甥から「何時までも隠しておいで申訳ねださ……」と言われた際の返しの言葉が「いいよ いいよ 戦死したことでもいいよ」だったのです。複雑に絡み合った感情の中に、加藤さんの優しさが滲^{にじ}んでいるように感じられます。

この他にも、『詩集 いいよ いいよ』には加藤さんの素朴な感情を表現した詩がたくさん掲載されています。

図書室にて閲覧・貸出が可能ですので、是非ご利用ください。

（斉藤聖）

企業様もぜひ当館をご利用ください

当館では企業による人権尊重の取組をサポートし、同時にハンセン病問題の普及啓発を促進することを目的として、企業の皆さまに対する当館の利用促進に努めております。企業による人権尊重の取組が重要視される中、ハンセン病問題をテーマとして従業員の研修等を実施していただくことは大きな効果が期待できると考えられます。人権を尊重する企業文化の創造に、ぜひ当館の団体プログラムをご利用ください。（占部好子）



出張講座のようす

派遣型 出張講座（10名様以上）

学芸員を派遣し、ハンセン病問題を中心に人権課題の講演を行います。（対面・オンライン可）

ご利用は
無料です

来館型 団体見学プログラム（10名様以上）

動画視聴、ガイダンス、展示見学を組み合わせたプログラムです。

出張講座を利用された企業様の声



新規入社者への人権の
カリキュラムで取り上
げて紹介したい



いかなる病気であれ、それを理由に排除することは絶対にあってはならないと考えます。（略）少なくとも自部署ではどんな事情や病気を抱えていても全員が貴重な戦力ですし、仲間です。どんな人でも活躍できる職場にしていきたいと考えます。



詳細はこちらから

お知らせ

現在、「資料館だより」を、デジタル版を主とする形へ移行することを検討しています。読者のみなさまの移行に関するご意見を募集しています。下記連絡先までご意見をお寄せください。

国立ハンセン病資料館 利用案内

■開館時間 9：30～16：30

■入館 無料

■休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始、国民の祝日の翌日、館内整理日

■交通
・西武池袋線 清瀬駅南口より 西武バス「久米川駅北口」行バスで約10分（「ハンセン病資料館」下車）
・西武新宿線 久米川駅北口より 西武バス「清瀬駅南口」行バスで約20分（「ハンセン病資料館」下車）
・JR武蔵野線 新秋津駅より 徒歩約20分



〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13 TEL 042-396-2909 FAX 042-396-2981 URL <https://www.nhdm.jp/>